

クラブテーマ「つながるロータリー」

姉妹クラブ：カーメル・バイ・ザ・シー R C【RID 5230】

友好クラブ：あづみ野 R C【RID 2600】

瀬戸北 R C【RID 2760】



第 1449 回例会 2017 年 1 月 24 日(火)12:30 開会点鐘 番伊にて ロータリーソング「それでこそロータリー」

年男会員卓話 久保 聡 会員

第 1448 回例会(1/17)報告

進行：中越 SAA

◎開会点鐘

◎会長代理挨拶 森 副会長

明けましておめでとう御座います。

1月4日事務所開き、1月11日合同例会でしたので今年に入り始めてのホーム例会です。改めて御挨拶申し上げます。

今日は戸田会長が所用で欠席の為、私が一言再来年度の予行演習のつもりでお話をするつもりでございましたが、この後、沢山の委員会報告が予定されております。時間の都合上これで終わりにしたいと思います。又の機会がありましたらお話しをさせていただければと思っています。今年もよろしくお願い致します。



◎幹事報告 寺田 幹事

- ・石川第3分区 IM 参加のお願い → 回覧
- 2/11(土・祝) 受付 14:30 開会 15:00 加賀屋にて
ロータリー講演「公共サービスの向上とクラブの活性化」
講演後、懇親会
- ・ロータリーレート 1月 1ドル=116円

◎30周年記念誌配布と記念誌作成への協力のお礼
徳永 30周年記念誌委員長

◎委員会報告

- ・ロータリーアワード顕賞候補者推薦のお願い
松井地域社会奉仕委員長より 別紙配布
- ・ロータリーの友 1月号紹介 勝木雑誌 R 情報小委員長
- ・1月度のお祝い発表 辰田親睦活動小委員長

◎出席報告 浜田 出席小委員長

会員総数 46名(内、出席規定適用の免除者 4名)
出席者 39名

◎ニコニコ箱紹介 田中 クラブ奉仕委員長

戸田 四国琴平に来ています。新年最初のホーム例会欠席で申し訳ありません。森副会長宜しくお祈りします。

佐味 久々に卓話させていただきます。

鳥畑 新年おめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。佐味さん卓話ありがとうございます。

木下敬夫 本年もよろしくお祈りします。

徳永 本日 30周年記念誌を配布させていただきます、よろしくお祈りします。

中越 やってきました冬将軍、体力維持ができると思いきや筋肉痛です、若くないのでしょうか、佐味さん大好きな刀の話です楽しみです。

桑原 新年度初例会で落ち着きます。年男佐味さん今年1年の熱き思いを聞かせて下さい、楽しみです。

山田、木下徳泰、姥浦敏明、今井、森、間蔵、勝木、山本勝義、長、魚岸、松井、西野、岡崎、寺田
年男先陣をきて佐味パスト会長、卓話ごころうさまです!!

須曾 誕生日です、よろしく?

姥浦昭二 ドローンでの空中撮影の名人、佐味さんの卓話楽しみにしています。

多田 やっぱり雪降りましたね! 大した事がなく良かったです。佐味さん卓話ドローンですか? 楽しみです。

中野 佐味先輩卓話有難うございます、面白おかしく為になるお話を楽しみにしています。

川島 この度、母の葬儀に大変お世話になり有難うございました。

...1/17日計 33,000円... 累計 709,400円...

| 月 | 日 | 曜 | プログラム | 週報担当 |
|---|----|---|---------------------|------|
| 1 | 24 | 火 | 年男会員卓話 久保 聡 会員 | 勝木 |
| 1 | 31 | 火 | 年男会員卓話 山本勝義 会員 | 中野 |
| 2 | 7 | 火 | クラブ協議会 (上半期事業・会計報告) | 魚岸 |
| 2 | 14 | 火 | バレンタインデーコンサート例会 | 今井 |
| 2 | 21 | 火 | 年男会員卓話 松井 聡 会員 | 多田 |

会 長 戸田 一明
副 会 長 森 仁志
副 会 長 鳥畑 弘
幹 事 寺田 彰
広報ニューメンバーズ委員長 今井 富夫

創立1986年6月15日
RI 認証1986年6月26日
【国内第1721】



◎年男会員卓話

佐味 貫義 会員 (72歳)



(玩具の模造刀と居合刀を回覧しますので興味のある方は手に取ってご覧ください)

今月のロータリーの友にも取り上げられています。「日本の刀剣」は正にモノづくりの点で Made in Japan の中でも優れものの代表格ではないかと思えます。刀のことは私より詳しい方もお有りかと思いますが、8年ほど前から居合道で真剣に親しんできた私の体験から敢えてお話させていただきます。

太刀(写真)は、いわゆる刀が表れる鎌倉中期まで主に馬上剣として使われて居ました。反りが大きく鐙(コジリ)が馬の体に触れないよう刃は下向きに佩刀(刀を腰に吊るす)していたのが特徴でした。乗馬したまま振り易いよう反りを大きくし、柄は片手で握るため刀より短め、大太刀で90cm、野太刀で90cm以上あったといわれます。

これに対して反りの小さい直刀は大刀(たち)と呼ばれ桃山時代以降一般的となり、使用方法の変化から刃を上に向け腰帯に差すようになります。いわゆる現代の居合や剣道にも使われているもので長さも60cm~70cm前後を標準とする刀剣です。

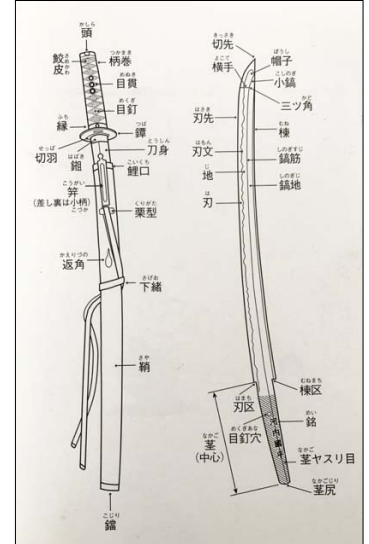
鋒(剣先)は刀工の作風と刀身のバランスによってそれぞれ異なるものがあります。

鑑定の要となる刃文は焼き入れの前に施される土置きという工程でどんな刃文を付けるかが決まり、鋒の形状と併せて刀工の個性が最も表れるところで直刃(すぐは)と乱れ刃(丁字の実や基石を連ねた形のものが多い)に大別されます。又、刀の鐙は彫金美術品の類となり現代ではコレクターの対象になっていますが、対敵の刃止めと重さを変えることで振りのバランスを調整する役割があります。

江戸期に入り斬り合いが御法度になると重い刀身の変わりや、家計の足しにするため刀身を質に入れて竹光を差していたことも良く耳にします。今日の劇や映画などに使われる刀は殆どが竹光かジュラルミン製で音は擬音ですが、場面によっては稀に真剣を使うこともあるようです。



刀剣の所持には法律に基づく許可が必要で、古来の製法で造られ美術品か骨董的な価値のある刀剣にのみ銃砲刀剣類登録証が交付され、必要あって刀剣を持ち歩く時にはこの登録証を携行しなければなりません。(運転免許証のようなもの)従って価値が不明の刀剣や模造刀、模擬刀類には登録証は交付されず、持ち歩きや無届けの保有は罰則が科せられます。ご自宅で刀剣などを発見した場合は速やかに最寄りの警察署に届け出て取り扱いについての指示を受ける必要があります。



刀剣の値打ちは刀剣鑑定士(室町時代から主として本阿弥家)によって金子(一両小判)が四枚(現在の50万円相当)以上の評価をする高額刀剣には折り紙が付けられ、それ以下の価値の刀剣には下げ札に鑑定が書かれ裏面に押印した札が付けられました。いわゆる折り紙付き、札付きの語源です。

終わりに、刀に由来する言葉や慣用句をご紹介します。

鎬(しのぎ)を削る、目抜き通り、切羽詰まる、鐙迫り合い、単刀直入、抜き差しならぬ、元の鞘に納まる、焼きを入れる、付け焼刃、急刃(急場)凌ぎ、両刀使い、抜き打ち、太刀打ち、鞘走りより口走り、反りが合わないなど今日でも使われている文言がたくさんあります。

(文語体のため、卓話当日の内容と幾分ニュアンスの異なる事をご了承ください。)

◎閉会点鐘 [週報担当: 山田]

次週予告

1月31日(火) 12:30開会点鐘 番伊
年男会員卓話 山本勝義 会員

今週の例会担当者: 辰田、三井、永江
(1/24) 川島、岡崎

次週の例会担当者: 浜田、伊藤、徳永、
(1/31) 中出、宮川